

年頭にあたり

蓋天清く蓋地潤う
 「学」に支えられた「行」の実践を

総長 池田 魯參
 学長 廣瀬 良弘



未来に繋がる自分へ繋げる



● 年頭にあたり	2
● 在職中の思い出	4・5
● 就職活動体験記	6・7
● KOMAZAWA NEWS	13
● サークル活動報告	15
● 駅伝 陸上競技部	16

年頭にあたり

蓋天清く蓋地潤う



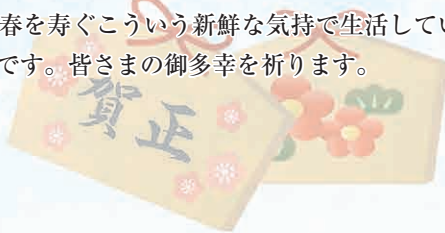
総長 池田 魯参

新年おめでとうございます。年頭にあたり学生諸君、教員各位、職員諸兄姉にとって本年も嘉き歳となりますよう心から祝祷申し上げます。

掲句は道元禪師が、仁治4（1243）年の元旦に、興聖寺で大衆に向かって示された年賀のご挨拶の一句（「正元上堂云」）です。続く一連の語は省略しますが、末尾は「春雲春水、時と与ともに来る」と結んでおられます。全体の意味は、元旦の「天空は清朗、大地は豊潤、（中略）行く雲、流れる水（私たち）も、新春の寿ことほぎ」ほどの意です。この年44歳になられた禪師は、半年余り後、住み慣れた京都を離れ、新天地に誘われるまま越前（福井県）に入られ、やがて永平寺の開創と曹洞宗教団の確立を果されるのです。一大転機を迎える新年をこの言葉で言祝ことほがれたわけで、秘かに期する禪師の胸の内はいかばかりか、推察するに余りあります。

鐘音高く始まった本学の開校130周年記念棟建設の大工事も、本年は壮麗な学舎の網格を現出させることでしょう。来年12月のI期工事の完成を目途に、建設計画が無事に円成出来ますよう、関係者各位のご健勝を心から祈願いたします。

道元禪師のお言葉通り、私たちは等しなみに天地一杯の恵みをいただいています。恵まれた一日一日の大切なのちを、些事に振り回され、人生の一大事を見失ってしまうことがないよう心したいものです。流れる水、浮く雲のように、その時時に新春を寿ことほぐという新鮮な気持ちで生活していきたいと願うものです。皆さまの御多幸を祈ります。



「学」に支えられた「行」の実践を



学長 廣瀬 良弘

新春おめでとうございます。穏やかな正月を迎えられたことと存じます。

さて、本学の建学の理念は、長い間、「行学一如」という言葉で表現されてきました。この言葉は、永平寺を開かれた道元禪師の禪を表す最も代表的な言葉「修証一等」に由来

します。道元禪師の禪は、一般的な禪のイメージとは大きく異なり、坐禅修行を積み重ねてゆき、悟りに至るというようなものではなく、坐禅は悟るための手段や道具ではないのです。

道元禪師の禪は只管打坐（ただひたすらに打ち坐る）の禪であり、「修証一等」の禪です。すなわち、坐禅修行（修）がそのまま悟り（証）であり（『正法眼蔵』弁道話）、坐禅（行）それ自体に絶対の価値を見出すものなのです。

本学の建学の理念「行学一如」は徹底して「行」を重んずるという禪師の思想に由来しています。「行」は自己陶冶、「学」は学問研究のことです。積極的「行」を通し、「学」（アクティブ・ラーニング）を中心に据え、「学」に支えられた積極的な「行」の実践を可能にしなければなりません。そして、この「行」の実践こそが、駒澤人を育むことになります。

さて、昨年は、皆さまのご協力を得まして、開校130周年記念棟の建設にともなう、体育館の解体工事に着手することができました。完成は丸2年後となります。在学生の皆さんには、ご迷惑をおかけいたしますが、安全と美化に努めます。そして、このことが本学の大切な「行」となります。

なお、学生の皆さんに禪の大学らしさをより一層感じていただくために、図書館前・図書館碑前・大学会館前・禅研究館前に枯山水の石庭に風紋を描き、金閣寺垣や建仁寺垣などの竹垣を施してみました。お楽しみください。

一松語

過去は過ぎ去り今は移ろい未来は未だやって来ない。このように語るかぎり時間はどこにも存在しないように思われる。そのため「時間とは何か」という問いは古来、哲学の主要な問いのひとつとみなされてきた。◆アウグスティヌスは『告白』の時間論で「時間が何であるか誰も私に問わなければ私は知っていますが、問われて説明しようとするとならないのです」と語り、彼自身は時間を現在の私たちの心の広が

りとみなして「過去は記憶であり現在は直観であり未来は期待である」という結論に至る。本当は逆だとよいのだが、楽しい時間が短くつらい時間が長く感じられるのもそれで合点がいく。アリストテレスの「時間は運動の数」という定義はしばしばこうした主観的な時間論と対比されるが、その場合でも数を数える人間から独立に時間が存在するわけではない。◆人格の同一性基準に関して、昨日の私と今日の私と同じ私だと言えるのは同じ記憶を持っているからだという説がイギ

リスの哲学者ロックに帰されることがある。だとすれば、物忘れに悩まされている私はどうなるのかと考え込んでしまうが、自分についての他者の記憶もまた私の同一性を支えているのだと考えることもできよう。◆地球の公転運動を数えて新年を迎えるたびに自分と他者の記憶としての過去の領域が次第に増えていくが、程よい忘却のもとではこれから到来する未来への期待を持つことで、はじめて人は過去と未来の均衡を保ちながら前へと踏み出せるのかもしれない。

司法試験合格体験記

2014 (平成26) 年3月法科大学院修了 望月 沙織さん



子どものころから人を助ける仕事に就きたいと思っていました。その漠然と

した思いが具体的になったのは、高校生のときに観たドキュメンタリー番組で弁護士の活動を知ったときでした。困っている人を助け、時には報酬を度外視で他人のために尽くす姿に強く心を打たれ、私も将来こういった活動をしたいと強く思うようになったことが、法曹を目指した一番の動機です。

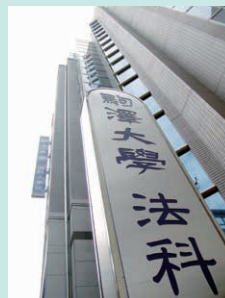
私は純粹未修で入学しましたので、当初は授業についていくこと

が大変で、一日の大半を予習復習に追われ、あっという間に定期試験が迫り、あっという間に1年が過ぎ去ったような印象です。受験期には、他の受験生がとてもよくできるように見えて怖くなりました、直前期に焦ったりもしました。しかし、今回ちゃんと合格することができました。

そこで、私と同じような受験生にむけて言いたいのは次のことです。努力は決して人を裏切らないですし、その点は全ての受験生に平等です。あなたが法曹になりたいという思いを持ち続け、合格をあきらめない限り、試験終了のその瞬間まで実力は伸び続けます。頑張ってください。

法科大学院の取り組み

法科大学院では、次のような改革・取り組みを行っています。同一学年内に科目の再履修が可能になる「半期完全セメスター制度」、法科大学院修了後8カ月間の司法試験準備期間を確保することができる「9月入学制度」、有職者が履修しやすい「平日夜間・土曜日開講」、4月の入学前に科目を履修できる「後期科目等履修制度」、地方で受験可能な「学外入試」などです。



学外入試は今年の2月に初めて実施しますが、その他の改革は既にも実施されており、その結果、今年度の入学者は大幅に増加しました。

また、地域貢献を目的とした年2回の「無料法律相談」や身近な法律問題に関する連続講座「市民ロースクール」も大変好評をいただいています。

(法科大学院教授 松本 英俊)

研究こぼれ話

化学染料からみたドイツと東アジア

経済学部准教授

浅田 進史



19・20世紀のなかのドイツ・東アジア経済関係を、とくに帝国主義・植民地主義の視点から研究しています。最近、19世紀末から20世紀前半にかけて、ドイツの化学染料がどのように東アジア市場で販路を広げてきたかに関心を持つようになりました。

19世紀後半から20世紀初頭にかけて、帝国主義が世界を覆い、工業製品と一次産品からなる国際分業が形成されました。この時期のヨーロッパとアジアの関係を考察する際、経済史研究者は、とくに綿紡績業に関心を寄せてきました。綿糸・綿布に代表される工業製品が各地域の経済構造から日常生活レベルまで深く影響を及ぼすためには、色褪せにくい化学染料の普及が欠かせません。

米国と並んで、ドイツは19世紀末以降の第二次産業革命の牽引役でした。なかでもBASF、バイエル、アグファといった現在でも世界的に有名な化学企業をもつドイツの化学染料は、第一次世界大戦までに世界市場の需要の9割を占めました。そして、日本・インドなど繊維部門の工業化が進むアジアは、ドイツ化学染料の輸出先としてきわめて重要な市場となりました。

このドイツ化学染料についての研究を開始した2015年の夏に、ドイツのレヴァークーゼンにあるバイエル企業史料館をはじめ訪問しました。史料についての丁寧なレクチャーを受け、さらに関連するたくさんの史料をデジタルカメラで撮影しました。史料館訪問は、新しい発見と人の出会いがあり、研究者として喜びを感じる楽しいひとときです。

国際学会の理事を経験して

グローバル・メディア・スタディーズ学部教授

福家 秀紀



情報通信産業論を専門としている関係上、この分野の国際学会、ITS (International Telecommunications Society)の理事を1998年から2012年まで務め、Conference Committeeの議長や東京大会の実行委員長も経験した。理事会におけるネイティブ同士の議論をフォローするのは容易ではない。かといって、発言しないと馬鹿にされる。そこで、重要な議題については真っ先に発言して議論の主導権をとることにした。これで、拙い英語でも何とかなるものである。それでも、欧米中心の理事会では、カルチャーショックともいえる事態にも直面した。財源難対策の検討時に、学会大会にかける損害賠償保険料の金額が大きいことを指摘し、保険をやめればいいのか、と言うと、米国人の理事から即座に、「会場で足を滑らせて怪我をしたから賠償しろと言われたらどうするのか」と反撃された。訴訟社会とはこんなものか、と妙に納得したものである。

国際学会はエンジョイしたが、一方で、わが国の厳しすぎる学会出張の規程にも悩まされた。学会大会には、パーティーがつきものであるが、飲食費は研究費から支弁できないと言われる。また、欧米では配偶者同伴で参加するのが一般的であり、配偶者用プログラムも用意される。ホテル代は通常、夫婦で泊まっても、一人と同額である。そこで、配偶者の航空賃は自己負担で同伴しようとしても、公私混同だと言われる。こうしたことに、柔軟に対応できないようでは、グローバル化も程遠いのではなからうか。

在職中の思い出

2016(平成28)年3月31日に定年退職される先生方に
在職中の思い出を語っていただきました。

「3・11」後の数日間

文学部教授 高田 知波



あの日と、それに続いた恐ろしくも腹立たしい日々記憶は今も脳裏を離れないが、その中に一つだけ宝玉のような思い出がある。あの翌日からの数日間、多世代にわたる旧高田ゼミ(演習)の卒業生リーダーたちから、次々にメールが届いた。いずれも被災県在住の仲間全員の安全確認ができたという内容である。あの混

乱の中で機敏に旧メンバーの安否情報蒐集に動き、そしてその結果を私にも速報してくれた彼・彼女たちの行動は実に頼もしく、かつ嬉しかった。長い教員生活を通じて私は、よき学生に恵まれたという喜びを数え切れないほど味わってきたが、2011年のあの数日間のメールラッシュはそれらを象徴する出来事だったと思う。

思い出は感謝とともに

経済学部教授 清水 卓



30数年間の教員生活の思い出の中でも第一に挙げるべきは経済学部教授会。1978年、採用されたばかりの私は、教授会の長時間にわたる激烈な議論に圧倒された。組合結成、教授会自治確立の上に学長公選制を目指す先輩教員諸氏の迫力はすさまじかった。本学が民主化・近代化に向け大きく飛躍す

る時期だった。その恩恵の上に私の教員生活があったのだと思う。ゼミ活動、職員の皆さんの助けを借りて進めた業務、教職員テニス同好会、教職員組合活動など多くの皆さんに尽きぬ思い出をいただき、感謝するばかりです。

素晴らしきゼミ生たちとの日々こそ最高の思い出

経済学部教授 瀬戸岡 紘



ゼミ生たちは「何のために大学にくるかって? ゼミの仲間に出会うため」というのが、私も同じ。38期まで総勢1200人余。よく勉強していた。それも課題設定、研究方法模索、実地調査などゼミ生が考えだし、実行、私は楽だった。日本学生経済ゼミ全国大会発表件数累計は全国最多。部門別全

国第1位、総合でも全国第3位をとった。勉強だけでない。震災被災地支援に手弁当で延べ10回以上出かけた。その他イベントは無数、みんな仲良くなった。そのためか、ゼミ生同士の結婚、現時点で23組46人。先日のゼミ同窓会に250人以上出席、燃え上がった。よい思い出となった。

思い出することなど

経済学部教授 友松 憲彦



奉職45年で退職を迎えますが一瞬であったような気がします。在職の前半は北海道教養部での勤務でした。吹雪になると通勤にも苦勞するきびしい自然のなかでの生活でしたが、キャンパスには学生の若さが溢れていました。スキーツアーや名物のジンギスカン鍋で盛り上がったことなど、懐か

しく思い出されます。経済学部では自由な雰囲気なかで研究ができ、意欲に満ちた学生と出会う幸せを味わうことができました。長い駒澤生活でお世話になった教職員の方々に感謝し、巣立っていった学生たちに思いを馳せ、本学の発展を願っています。

楽しかった正課ゼミ・教職ゼミ学生との学び

経済学部教授 谷敷 正光



思い出はたくさんのゼミ生との出会いです。私が奉職した昭和47年当時は経済学部の研究室は7号館5階でした。当時はオイルショックと大企業の指定校制とで企業への就職は厳しく、また教職志望の学生からは「うちの大学から教員は無理」との声もあったが、そんなゼミの学生が研究室に集

まり、夜遅くまで研究や試験勉強をし、帰りは飲み会で熱く語り合ったものでした。あの頃の懐かしい卒業生が、今、ホームカミングデーに大勢集います。43年間の勤務でしたが、昔と変わらぬ笑顔で熱く語る卒業生を見て、教師になってよかったなとしみじみ感じます。

アメリカにおける研究生活

総合教育研究部教授 落合 和昭



駒澤大学に奉職して42年目が終わろうとしています。思い出は数多くありますが、研究生活のみに絞ると、2度にわたるアメリカでの在外研究—最初は西海岸のカリフォルニア州立大学ロングビーチ校とUCLA(1980-82)、次が東海岸のイエール大学(1998-2000)—です。アメリカ文学を研究

する者にとって、研究以外にも、アメリカを両海岸から見ることができたことは望外の幸せでした。このように長きにわたって、自由に研究をする機会を与えてくださった駒澤大学には心から感謝しております。

法科大学院と歩んで

大学院法曹養成研究科特任教授 伊藤 正義



私は、当法科大学院開設以来、11年間にわたって特任の実務家教員として刑事系の実務科目を担当してきました。私は、昭和48年に登録した弁護士ですが、司法研修所の刑事弁護教官経験者ということで法科大学院教育に携わることになりました。

法科大学院を取り巻く環境は、この11年

間で大きく変わってきていますが、法曹養成の重要性は、些かも変わることはありません。法科大学院と歩んだ11年間は、私にとって貴重な経験の時でした。定年まで法曹養成にかかわれたことはこの上ない喜びです。最後に当法科大学院の更なる発展を期待しています。

駒澤大学学術褒賞について

曹洞宗の教学および駒澤大学の学術の振興をはかることを目的に、曹洞宗特別奨励賞および駒澤大学学術文化賞を設け、各々の専門分野において学術上顕著な業績を発表した方に対して褒賞を行いました。受賞者には、12月8日(火)に行われた成道会法要の際に、賞状と賞金が授与されました。

曹洞宗特別奨励賞

【仏教学・禅学・宗学部門】

仏教学部

角田泰隆 教授

業績名：『道元禅師の思想的研究』

受賞理由：9章に亘って特徴ある禅師の個々の思想問題を体系的にかつ幅広く論じ、その根底には行(修行)があることを論証した点は特に優れており、高く評価できる。



駒澤大学学術文化賞

グローバル・メディア・

スタディーズ学部

芝崎厚土 准教授

業績名：『国際関係の思想史—グローバル関係研究のために』

受賞理由：新しい知的な課題であることを主張した学問的意義、複数の学者の業績を架橋した文化的意義、新しい知見や理論を取り入れ分析・提案した社会的意義から、総合的に授賞が相応しい。



文学部社会学科社会学専攻4年
野口 裕貴



内定先：株式会社ローソン

「1. 常に様々な人とコミュニケーションをとることができる。2. 食を中心に関与できること」が私の就職活動の軸でした。面接では短時間で相手に伝えなければなりません。私が意識していたのは自分をつくらないことです。「仕事選びの軸」と「自己の確固たるイメージ」をもってれば、自然な受け応えができ面接官にも正しく伝わると思っています。筆記試験や面接対策・企業研究は大切なことですが、最も重要なのは、これまで自分がどうしてきたかや没頭したことなどを掘り下げる時間を十分に設け、就職活動に臨む準備をすることです。その上で、それらを素直に伝えることが本当の自己PRだと考えています。

また履歴書の趣味・特技の欄は目一杯埋めましょう。そこから雑談のような形で私の良さを引き出そうとしてみてくださいる企業も多数ありました。企業に合わせるのではなく自分に合った企業を見つける就職活動をしてもらいたいと思います。

私の必需品



スマートフォンの充電器と履歴書関係書類です。就職活動中は携帯電話での調べものも多く、人気企業のWEBエントリーもスピードが勝負ですので、常に使える状態にしています。履歴書は、一日に複数社を訪ねる隙間の時間で書いていました。受ける可能性のあるエントリーシートも含めて40枚程書きました。郵送まで済ませることで、限られた時間を有効活用できたと感じています。

株式会社ローソン：東証一部上場。業界第2位。「マチの健康ステーション」をスローガンに掲げている。

法学部法律学科フレックスA 4年
穂谷野 圭



内定先：日東工器株式会社

私は具体的に就きたい職業が思い当たらなかったため、「ニッチな分野でトップシェアをもち、安定した経営基盤をもつ会社、目立たなくても堅実で安全な会社」という視点で幅広く就職活動を行いました。そして幸運にも、私の希望に合致し、さらには趣味である宇宙関連事業の一端にも関わられるような現在の会社と出会うことができました。機械工具メーカーということもあり、就職活動を始める前は名前も知らない会社だったのでさまざまな不安もありましたが、選考を進み社員の方々とコミュニケーションを取り、情報を集める中で、その会社で「生きていくことができそうだ」と思えたので、入社を決めました。

就職活動は、生き方を考えることだと思います。自分が評価を受けるだけではなく、自分が会社を選んでいるのだという気持ちを忘れずに、「自分はどのように生きていきたいのか」という視点で楽しんで就職活動を行えば、きっと自分らしい道がみえると信じています。

私の必需品



企業研究メモと化粧ポーチです。企業研究メモは、A4のコピー用紙を使った自筆メモと会社案内と一緒にファイリングしたもので、企業データのみならず実際に訪れたとき感じた雰囲気や、自分に合っているか等もまとめていました。ポーチは、普段はつけていない口紅をつけたり、駅で目薬をしてから企業へ行くことで、就職活動モードに切り替えられ自然と背筋が伸びていました。

日東工器株式会社：東証一部上場の機械工具メーカー。主力製品の迅(I・C・S参加企業) 速流体継手「カブラ」は国内シェア1位。

就職活動最前線

○選考前倒し

現3年生(2017年卒)の就職活動が変わります。経団連(日本経済団体連合会)の指針により、現4年生(2016年卒)は採用選考解禁日が4年次の8月からでしたが、3年生は2カ月前倒しの6月から始まることになりました(下表参照)。しかし、企業の採用広報開始月は今年と変わらず3月からです。この前倒しは、採用広報開始から面接・選考開始までの期間が短くなり、会社説明会に参加したり、企業研究をする時間が少なくなるということを示しています。

キャリアセンターでは学内での企業セミナーや合同企業説明会を一層充実させますので、積極的に活用してください。

■就職活動時期の変遷

～2014 (～社会人1年目)	会社説明会	面接	内定								
2015 (現4年生)	会社説明会	面接	内定								
2016 (現3年生)	会社説明会	面接	内定								
学年	3年生			4年生							
月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
学事	授業	試験	春休み		授業	試験	夏休み	授業			

○インターンシップについて

ここ数年、インターンシップを1、2月に実施する企業が増えています。優秀な学生と早期に接触し、自社の採用選考への応募に繋げることを目的とする企業もありますので、興味のある企業のインターンシップには積極的に参加してください。中には1・2年次から参加できるものもあります。1・2年次を対象にしたインターンシップについては、キャリアセンター掲示板、KONECOのお知らせ等に掲示します。

●4年生(2016年3月卒業見込)の主な内定先

グーグル 楽天 オリエンタルランド サンリオ 博報堂 読売広告社 新潟日報社 日本航空 全日本空輸 JRグループ JT Bグループ 日本中央競馬会 日本ハム 伊藤園 プルボン 大塚製薬 ロート製薬 新日鐵住金 センリン レベルファイブ 住友林業 三越伊勢丹 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 みずほフィナンシャルグループ 横浜銀行 城南信用金庫 日本生命 第一生命 損害保険ジャパン 日本興亜 あいおいニッセイ同和損害保険 日本レコード協会 厚生労働省 農林水産省 国立印刷局 関東信越国税局 警視庁 東京消防庁 埼玉県庁 世田谷区役所 他

※I・C・Sとは5大学と5企業が参加する1・2年向けインターンシップ

文学部国文学科4年
岩田 宝



採用先：神奈川県教育委員会

私が教員採用試験に向けて意識したことは、まず学びの機会を増やすことです。私の場合は専門予備校へ入学したり、大学内の勉強会や予備校での学習サークルに参加したりしました。また、お世話になっている先生に論文の添削もしていただきました。こうして様々な場所に赴き、刺激をうけることで、教職に対する高いモチベーションを維持することができました。

次に意識したのは、人との関わりを生かすことです。具体的には、予備校や勉強会での仲間との学び合いを大切にしました。特に面接、模擬授業、集団協議などの対策には、より多くの人の協力が必要となります。同じ志を持つ他者から自分を見てもらうこと、他者の良い点を自分に取り入れることができたからこそ、ベストな状態で試験を受け、合格することができたのだと思います。

「絶対に教師になる」という意志を胸に、仲間と頑張り続けてください。

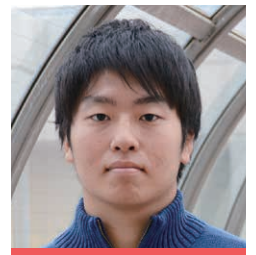
私の必需品



生徒からの寄せ書きと、中学校学習指導要領解説 国語編です。楽しくも辛くもあった教育実習最終日に、担当の生徒から「絶対先生になってください」と言われたことは、採用試験への大きなエネルギーになりました。試験前日にも見返し、気合いを入れていました。要領解説は試験対策や模擬授業などで指導の具体的なイメージが分からないときに、見直すようにしていました。

神奈川県教育委員会：「心ふれあう しなやかな 人づくり」の指針に基づき、県全体の総合的な教育活動を担っている。

法学部法律学科フレックスA 4年
神田 和也



採用先：横浜市役所

公務員試験を受ける上で、最初を知るべきことは筆記ばかりに固執すべきではないことです。率直に言えば筆記は通って当たり前で皆その後の面接が大変なのです。というのも一人で勉強すればいいだけの筆記とは違い、面接対策は友人や家族の協力（他己分析）、今までの人生（自己分析）、自治体情報の収集など、自分だけの力では十分な対策が難しいからです。

私はこの点で友人に恵まれていました。共に自治体研究や他己分析をすることによって充実した対策をすることができました。もちろん勉強面でも切磋琢磨できましたし、勉強後、食事に一緒に行ったりして適度にリフレッシュすることもできました。ですから皆さんも公務員試験に臨むにあたり、そういった仲間と切磋琢磨すれば試験も自然と乗り切れるのではないかと思います。皆さん勘違いしがち（自分もしていました）ですが、公務員試験は個人戦ではなく団体戦です。周りとの協力しあい皆で合格を目指しましょう。

私の必需品



ブラックコーヒーとチューイングガムです。コーヒーは、勉強に臨む上で眠気覚ましに日に3本程度飲んでいました。昼間は予備校、夜はアルバイトという生活だったので、コーヒーで眠気を吹き飛ばせるという自己暗示もかけていました。ガムは、咀嚼していると集中しやすくなると聞いたことがあり、勉強に身が入っていないと感じたときのアイテムとして活躍してくれました。

横浜市役所：人口370万人の政令指定都市。2013年には待機児童数ゼロを達成等、先進的な政策が注目を集めている。

キャリアセンターイベント情報 (詳細はキャリアセンター HP・掲示板等で確認してください)

①「第4回就職ガイダンス」※マナー講座も行います。

●3年生・修士1年生対象	会場：記念講堂
【仏教・経済】	1/26(火) 13時～16時10分
【文・GMS・医療健康科・大学院】	1/27(水) 13時～16時10分
【法・経営】	1/28(木) 13時～16時10分

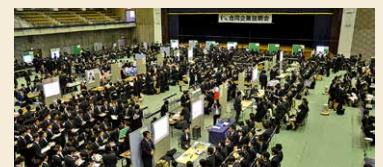
②「学内合同企業説明会」

●3年生・修士1年生対象	会場：9号館
第1回合同企業説明会(4日間で400社予定)	3/8(火)～3/11(金)
●4年生・修士2年生対象	会場：記念講堂
第10回合同企業説明会(希望企業による学内一次選考あり)	1/29(金)

③「しごと研究講座」「企業セミナー」

企業の方がそれぞれの業種、職種について説明を行う「しごと研究講座」、3月からは採用に関する説明を行う「企業セミナー」を開催します。

●主に3年生・修士1年生対象 (1・2年生も参加可)	●3年生・修士1年生対象
しごと研究講座	企業セミナー
2月～	3月～



合同企業説明会の様子

キャリアセンターからのお知らせ

3年生対象の第3回就職ガイダンス(11/10～11/12開催)で、「Career Hand Book 2017」を配布しました。就活ノートとして、本番でも役立つ情報を掲載しています。

就職活動中は、スケジュールやID・パスワードの管理が大変です。黒いリングのみの仕様なので、ダイアリーとしても好評です。是非、ご活用ください。



新刊紹介

2015(平成27)年に刊行された本学教職員の著作物(共著、編者、解説、監修含む)一覧です。これらは、図書館2階の「教職員著作物」コーナーなどですべて閲覧することができます。

是非、一度手にとってご覧ください。

※2015年11月27日までに図書館に配架された書籍を掲載しています。

No.	書名・出版社等	著者・編者
1	経済発展と交通・通信 / 関西大学経済史研究会編。-- 関西大学出版部, 2015.1	豊田太郎
2	比較政治学のフロンティア: 21世紀の政策課題と新しいリーダーシップ / 岡澤憲夫編著。-- ミネルヴァ書房, 2015.1	大山礼子
3	戦前期綿糸紡績業における女学校の成立 / 谷敷正光著。-- 創成社, 2015.10	谷敷正光
4	変容するテレビニュースとキャスターの役割 / 深澤弘樹著。-- 春風社, 2015.2	深澤弘樹
5	ブロンテ小説における病いと看護 / 川崎明子著。-- 春風社, 2015.2	川崎明子
6	国際関係の思想史: グローバル関係研究のために / 芝崎厚士著。-- 岩波書店, 2015.2	芝崎厚士
7	国際日本経済論: グローバル化と日本の針路 / 熊倉正修著。-- 昭和堂, 2015.2	熊倉正修
8	永明延寿と『宗鏡録』の研究: 一心による中国仏教の再編 / 柳幹康著。-- 法蔵館, 2015.2	柳幹康
9	ベトナム・フエラゲーンをめぐる環境誌: 気候変動・エビ養殖・ツーリズム / 平井幸弘著。-- 古今書院, 2015.2	平井幸弘
10	道元禅師の思想的研究 / 角田泰隆著。-- 春秋社, 2015.2	角田泰隆
11	東アジア新興市場と地場産業: 地方中小企業と東アジアの経済共生 / 坂田幹男, 唱新編著。-- 晃洋書房, 2015.2	吉田真広
12	国際課税の実務と理論: グローバル・エコノミーと租税法 / 赤松晃著。-- 第4版。-- 税務研究会出版局, 2015.2	赤松晃
13	対照索引並びに研究 / 萩原義雄編。-- 勉誠出版, 2015.3	萩原義雄
14	IFRS国際会計基準の基礎 / 平松一夫監修。-- 第4版。-- 中央経済社, 2015.3	河合由佳理
15	農の6次産業化と地域振興 / 米屋武文編集。-- 春風社, 2015.3	小本恵照
16	ポスト代表制の政治学: デモクラシーの危機に抗して / 山崎望, 山本圭編。-- ナカニシヤ出版, 2015.3	山崎望
17	ハワイにおけるアイデンティティ表象: 多文化社会の語り・踊り・祭り / 白水繁彦編。-- 御茶の水書房, 2015.3	白水繁彦

No.	書名・出版社等	著者・編者
18	義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎 / 田中徳定著。-- 新典社, 2015.4	田中徳定
19	ジェンダーで学ぶ生活経済論: 現代の福祉社会を主体的に生きるために / 伊藤純, 斎藤悦子編著。-- 第2版。-- ミネルヴァ書房, 2015.4	姉齒暁
20	日本古代史の謎 / 瀧音能之監修。-- 宝島社, 2015.5.	瀧音能之
21	排外主義を問いなおす: フランスにおける排除・差別・参加 / 中野裕二 [ほか] 編著。-- 勁草書房, 2015.5.	中野裕二
22	車札からみた殿下乗合事件 / 古谷紋子 [著]。-- [古代学協会], 2015.6	古谷紋子
23	古代エジプト死者からの声: ナイルに培われたその死生観 / 大城道則著。-- 河出書房新社, 2015.6	大城道則
24	憲法がわかった / 日笠完治著。-- 改訂第2版。-- 法学書院, 2015.6.	日笠完治
25	中国考古学のとびき / 飯島武次著。-- 同成社, 2015.7	飯島武次
26	禅思想史講義 / 小川隆著。-- 春秋社, 2015.7	小川隆
27	知っておきたい仏像と仏教 / 今井浄圓 [ほか] 監修。-- 宝島社, 2015.9	廣瀬良弘
28	「古代史」ミステリーツアー / 瀧音能之監修。-- 大和書房, 2015.9	瀧音能之
29	アジアの社会参加仏教: 政教関係の視座から / 櫻井義秀, 外川昌彦, 矢野秀武編著。-- 北海道大学出版会, 2015.3	矢野秀武
30	税務会計論 / 柳裕治編著; 高木克己, 北口りえ, 榎本恵一, 柳綾子著。-- 改訂版。-- 創成社, 2015.4	北口りえ
31	国家の歴史社会学 / ベルトラン・パデイ, ピエール・ビルンボーム著; 小山勉, 中野裕二訳。-- 再訂訳版。-- 吉田書店, 2015.4	中野裕二
32	格差社会と現代流通 / 大野哲明, 佐々木保幸, 番場博之編著。-- 同文館出版, 2015.10	番場博之
33	戊戌政変の衝撃と日本: 日中聯盟論の模索と展開 / 藤谷浩悦著。-- 研文出版(山本書店出版部), 2015.9	藤谷浩悦
34	アドラー心理学: 人生を変える思考スイッチの切り替え方: スッキリわかる! / 八巻秀監修。-- ナツメ社, 2015.7	八巻秀

コミュニティ・ケアセンター主催

第28回公開講座 慈しみの心によるコミュニティ・ケア開催



コミュニティ・ケアセンターの主催で、10月23日(金)に「慈しみの心によるコミュニティ・ケア」と題した公開講座が行われました。講師に、日本テラワダ仏教協会のアルボムッレ・スマナサーラ長老をお迎えし、「怒らないこと-気づきの瞑想について-」についてお話しいただきました。長老は、日常生活におけるイライラや怒りなどの感情は、他者と自分を慈しむことで大抵は解決できることを、ユーモアを交えつつお話しくれました。私からは、「慈しみの心理療法」と題して、慈悲の瞑想によって幸福感が増し、うつ病などの治療も行えることをお話ししました。その後の対談では、コミュニティ・ケアのた

めには、慈しみの心によってコミュニティと大学が繋がっていくことが大切であることを確認しました。中央講堂に120人を超える皆さまにご来場いただき、「慈しみの心」の力を一緒に学ぶことができました。大変ありがたく感じております。合掌。

(文学部心理学科教授 有光 興記)



第1回 学生シンポジウムを開催

経済学部ゼミナール連合会

経済学部ゼミナール連合会は、11月15日（日）、学部を超えて意見を交わす「学生シンポジウム」を開催いたしました。本連合会の学生が主体となり立案・企画を行い、14ゼミ、約200人も 학생들이集まり、分科会方式でそれぞれ研究を発表、討論を行いました。

今回のシンポジウムでは、普段のゼミ活動にはない緊張感の中で、日ごろの研究成果を発表することができました。他学部、他ゼミが参加することで、例えば日本が抱える問題に関して議論する場合、企業や経済の視点で見るとか、それとも政治や法の立場か



ら考えるのか、また文化や地域から捉えるのか、といったように、多様な視点から考察することができました。今後は、こうした意見を各ゼミで持ち帰り、更なる学問研究の発展に生かしていければと思います。

来年度以降も、学生シンポジウムの開催を予定しており、参加する学部と学生数をさらに増やし、こうした取り組みを大学全体に広げていきたいと思っています。

参加ゼミ一覧

経済学部	明石ゼミ、姉齒ゼミ、江口ゼミ、小西ゼミ、瀬戸岡ゼミ、中津ゼミ、長山ゼミ、百田ゼミ、松本ゼミ、宮田ゼミ
法学部	富崎ゼミ
経営学部	青木ゼミ、中野ゼミ
GMS学部	テヅカゼミ

他学部のゼミから寄せられた声 /

法学部富崎ゼミ

今回はこのような他学部の行事に参加させていただき、ありがとうございます。どのゼミもゼミで培った力を存分に発揮していたと思います。また、それぞれの研究発表を聞き、様々な新しい視点から問題について考察することもでき、大きな刺激になりました。



経営学部青木ゼミ

多種多様な発表で、各ゼミの特色が出ていたので、とても刺激を受けました。他学部独自の視点からの意見も飛び交い、これからの研究の指針になるような話も出たので、とても参加する意義がありました。



GMS学部テヅカゼミ

なかなか他学部の方の発表を聞く機会がないため、そうした発表を聞くことができ新鮮でした。他ゼミの方たちの前で発表するのは緊張しましたが、これも良い経験になったと思います。次回は、もっと他学部の参加が増えてくれれば良いと思います。



※GMS学部：グローバル・メディア・スタディーズ学部

グローバル・メディア・スタディーズ学部

学部同窓会発足・学部創立10周年記念国際シンポジウム開催

グローバル・メディア・スタディーズ学部長 各務 洋子

10月31日（土）、グローバル・メディア・スタディーズ（GMS）学部創立10周年を記念して同窓会を発足しました。また11月20日（金）にはオックスフォード大学からフロリジ博士を招いて国際シンポジウムを開催しました。同窓会では卒業後6年振りの再会となった1期生から本年度3月に卒業したばかりの6期生まで約140人が集い、旧交を深める場となりました。学際学

部としてスタートしたGMS学部の利点を活かした文字通りの異業種交流の場が年々拡大することを願います。

国際シンポジウムでは、“グローバル化の進展とメディアの役割”と題して、各界のパネリスト5人と共にパネルディスカッションの場をもつことができました。ビッグデータ時代の人間の生き方にまで及ぶ深淵な議論を展開することができました。



同窓会の様子



シンポジウムで講演するフロリジ博士

開校130周年記念棟の地鎮式を執り行いました

11月6日(金)に、現在駒沢キャンパスで工事を進めている、新校舎「開校130周年記念棟」の地鎮式を執り行いました。池田魯參総長導師のもと、建設工事の無事を祈る法要を営みました。



「開校130周年記念棟」完成イメージ

1期工事の記念棟は9階建ての高層部分と4階建ての低層部分からなり、2018年4月運用開始です。続く2期工事ではテラス棟を建設し、2019年9月に運用開始です。延べ床面積は24,869平方メートルです。

本事業は、国土交通省の平成26年度(第2回)「住宅・建築物省CO₂先導事業」に採択されています。これは、省CO₂の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを国が支援することで、省CO₂対策の推進や住居・生産環境の向上などを図ることを目的とする事業です。建設にあたり、学生・教職員の皆さんの安全に十分配慮して参ります。



地鎮式の様子

MySeminar 私のゼミ vol.138

心理学科鈴木常元ゼミは、現在4年生11人、3年生8人と大学院生4人が所属しています。ゼミの雰囲気は自由で気楽に意見を述べる事ができます。先生はいつも笑顔で私たちの話を聞き、一人ひとりの考え方を大切にしてください。ゼミの目的は卒業研究の準備を行いながら、研究の進め方やプレゼンテーションの方法について学ぶことです。そのために、参考資料の調べ方を先生から詳しく教わります。そして、各自興味を持つ分野について調べ、ゼミ内で発表を行います。音楽療法やゲーム療法、漫画セラピー、恋愛感情などについて発表する人もいます。一人の発表に対して、ほかのメンバーがコメントをします。発表内容に質問することによって、お互いに確認しつつ、内容の理解を深めていきます。

授業中に催眠や自律訓練法を用いた心理療法の症例も紹介され、それについて自分の考え方を述べたり、皆で討論したりします。その後実際に集団催眠と自律訓練法を体験することができます。また、唾液を通してストレスを測定すること、クーピーで絵を描くことや粘土でも

韓国・東国大学の 理事長・総長が本学を訪問



9月24日(木)、協定校である東国大学の黄日面理事長、韓泰植総長が本学を表敬訪問されました。本学の須川法昭理事長、池田魯參総長はじめ、本学の役員とともに、お互いの大学の現状、今後の展望や両大学の交流について、意見交換を行いました。さらに、禅文化歴史博物館、図書館等を見学され、本学で所蔵する禅関係の貴重書、展示をご覧いただきました。

東国大学は、ソウルと慶州にキャンパスを持つ、禅宗の曹溪宗立の仏教系総合大学で、学部は仏教学部、文学部、理科学部、法学部、生命科学学部などがあり、20,000人の学生数を有する大規模校です。

毎年、両校で交換留学生を受け入れている他、2012年からは同大学で開催されるサマースクールにも参加し、学生の語学研修や文化体験等で交流を深めています。



文学部 鈴木 常元 ゼミ

文学部心理学科3年 王 翠

のを作ることなどもゼミで行っています。遊び心を半分呼び覚まし、楽しみながら学んでいきます。このように催眠や自律訓練法をベースにしたイメージ、例えば描画、粘土などの表現を通して、それをどのように捉え(心理アセスメント)、どのように心理面接に生かしていくかを勉強しながら、臨床心理学の基本を身につけていきます。

鈴木ゼミで貴重な経験を積んで、私たちは心理的に健全な人間として成長しています。



海外研修・留学フェア

9月30日(水)・10月1日(木)、駒沢キャンパス記念講堂にて、海外研修・留学フェア2015を開催しました。春季語学セミナー説明会や留学説明会、課



外講座説明会、海外ボランティア説明会など、様々なセミナーを実施し、両日併せて300人以上の参加がありました。

また、交換留学生による協定校紹介や、交換留学生とのアフタヌーンティーなど、直接コミュニケーションを取ることができるイベントも行い、大盛況のうちに終了いたしました。

海外研修・留学フェアは2016年も実施予定ですので、グローバルな活躍を目指す皆さんはぜひご参加ください。



グローバルサロン

国際センターでは、2015年度より深沢校舎2階に「グローバルサロン」を設置しました。協定校からの来日交換留学生とさまざまな話題について直接会話することで、各国の言語や文化に触れることができます。

これまでに、7月はヤニスさん(フランス・帰国)、シェルビーさん(アメリカ)、蔡さん・陳さん(台湾)が、10月はエリンさん(オーストラリア)、テイラーさん(アメリカ)が、11月は

ウェスタンさん(アメリカ)が、12月はアンナさん(オーストラリア)が本学の学生と交流しました。

毎回、参加した学生からは大好評で、回を追う毎に参加者が増えています。

これからも定期的にも実施していく予定です。興味がある方はぜひご参加ください。



参加学生の感想

交換留学生

- 意外と面白かった!
- またやりたい!

日本人学生

- 友だちになれた!
- 楽しかった!

国際交流協定校 キーンズランド大学 来日プログラム

本学の協定校であるオーストラリアのキーンズランド大学から20人の留学生を迎え行われた第27回来日プログラムは盛況のうちに終了しました。

本プログラムは日本語の授業のほか、茶道や書道などの日本の伝統文化を体験でき、禅研究館での坐禅実習は本学ならではの経験ができることから大変好評です。また、本学



ボランティア学生が企画する「会話実習」に始まるさまざまな交流は、同世代の言葉や文化を学ぶ絶好の機会であり、両

校の学生が言葉の壁を越えた体験をともにした、まさに本プログラムの醍醐味と言えます。

実施にあたり、留学生たちを温かく受け入れてくださったホストファミリーの皆さま、並びに多大なるご理解とご協力をいただいた関係者の皆さまに深く感謝いたします。また、



長期間にわたり献身的に留学生と行動をともにしてくれたボランティア学生の皆さんに改めて感謝するとともに、両校の学生の今後の活躍に大いに期待したいと思います。

国際センターのイベント情報は、KONECOで配信しています!

寝不足は損

保健管理センター所長 西尾 誠示

学生の皆さんは1日何時間くらい眠っていますか？

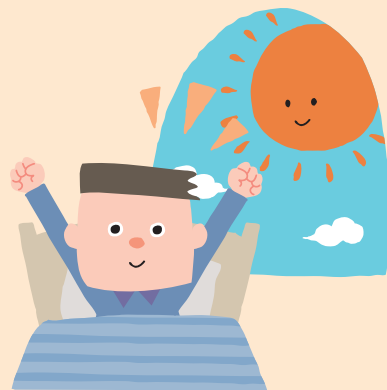
日本人の睡眠時間は年々少なくなっており、この50年で平均1時間も短くなっています。寝不足はどんな不利益を生むでしょうか。寝不足が続くと集中力や思考力が低下し、普段より勉強や仕事の効率が落ちるのは目に見えています。イラついて失敗が増える、あるいは自己中心的になり、周囲を見渡す気力も失せていきます。挙句に信頼関係を損なうことさえあります。精神面の損失だけではありません。体重が増えやすい、血圧が上がる、風邪をひきやすい、脳卒中やがんなどにもなりやすいな



ど、体に良いことは皆無です。睡眠不足で失われた生産性をお金に換算すると年間630億ドルという説があります。更に米国のある教授は「最も能力を発揮する人々は1日あたり8時間36分睡眠をとっている」と報告しています。学生の皆さん、睡眠不足は決して自慢になりません。毎日十分に睡眠をとって万全な体調で試験に臨んでください。

保健管理センターだより

ど、体に良いことは皆無です。睡眠不足で失われた生産性をお金に換算すると年間630億ドルという説があります。更に米国のある教授は「最も能力を発揮する人々は1日あたり8時間36分睡眠をとっている」と報告しています。学生の皆さん、睡眠不足は決して自慢になりません。毎日十分に睡眠をとって万全な体調で試験に臨んでください。



仏教行事について

高祖降誕会

仏教学部教授 熊本 英人

道元禪師は、仏教をなぜ学ばなければならないかについて、次のように説かれている。

「すでにうけがたき人身をうけたるのみにあらず、あいがたき仏法にあいたてまつれり」(『正法眼蔵』「出家功德」巻)

人間として生まれたということは、とてもラッキー。さらにそこで仏教に出会ったということは、さらにラッキー。この超ラッキーを生かさなければならぬ。だから今ここで仏教に専念せよ、と道元禪師は言われる。

一個人が人間として生まれ、仏教と出会った。単にそれだけのことではない。自分の都合など超えて、人間のつながりの中に、仏教のつながりの中に存在していることの意味は何か。

人として生まれ、さまざまなものに出会う。それらはすべて一期一会、今、生きているからこそ出会えたものである。



良いこともあれば悪いこともある。仏教の説く道は、そのような出会いに一喜一憂、ただ振り回されるだけではない。出会いは自分の思いのみで取捨選択できるものではない、ということ。

1200年1月26日(正治2年1月2日)、曹洞宗の高祖道元禪師が生まれた日。高祖降誕会として曹洞宗ではお祝いしている。

涅槃会

仏教学部教授 金沢 篤

カレンダーには2月15日(月)、「涅槃会法要」とある。「涅槃会」という法要の意味。2500年ほど前のインド、クシナーラーのサラノキ(沙羅双樹)の林で80歳で亡くなった釈尊の命日に営まれる仏教行事のことだ。



過去分詞より転じての名詞nirvāṇa (<nirvāṇa or nirvṛta)の音訳語の「涅槃」とは、「消火」。「成仏すること」の意味で用いられる。29歳で出家、35歳でブッダガヤの菩提樹下で成仏した釈尊の、45年間の布教活動を経ての死は、いわば二度目の涅槃ということになる。この涅槃を、完全な[真の]涅槃と考え、「般涅槃parinirvāṇa」、さらに誇張して「大般涅槃mahā-parinirvāṇa」と呼ぶ。真の寂靜の実現たる死とは、「煩惱の火」ならぬ「生命の火」の涅槃である。

釈尊の臨終を目の当たりにした弟子のアヌルッダの詩節が残されている。「心の定まれるかかるお方には、呼気も吸気もなかった。煩惱を離れた聖者は、寂靜を得て身罷られた。[師は]ひるむことのない心によって、苦楽を、忍受された。燈火に対する消火/涅槃のように、心に解脱が生じたのである」の意味を深く噛みしめたいものである。

教務部からのお知らせ

平成27年度後期・通年科目定期試験の日程

定期試験 (集中試験)	1月12日(火)・13日(水)・14日(木)
定期試験	1月18日(月)～22日(金)・25日(月) ※25日は土曜日授業の振替試験

定期試験はすべて駒沢キャンパスで実施します。
1月12日・13日・14日は専門教育科目の集中試験です。専門教育科目試験は、履修者数が多いなどの理由で授業日・時間が異なる曜日・時間で実施されます。

詳細は、ホームページ・KONECO等で必ず確認してください。

試験には学生証を忘れずに!

履修要項・学生証裏面貼付シールの配布

3月30日(水)・31日(木) 9:00～17:00

教務部臨時窓口

※なお、仏教学部の新3年次生は学部による学科振り分け説明会がありますので、KONECO、仏教学部ホームページで日時・場所等を確認してください。

平成28(2016)年度履修登録等オリエンテーションを開催

3月30日・31日に履修登録のオリエンテーションを開催します。

履修要項を受け取ってから参加してください。

オリエンテーションに参加して、履修登録のスケジュールを把握できるようにしましょう。

詳細はKONECOで

KOMAZAWA NEWS

文学部大城教授が学外展覧会で ピラミッドブースを担当

東京駅そばのKITTEで開催される特別展示『ミュオグラフィ—21世紀の透視図法』(12/5(土)～2/21(日)／東京大学総合研究博物館と東京大学地震研究所主催／本学他後援)で、文学部歴史学科の大城道則教授がピラミッドブースを担当しています。



文学部佐々木教授が 日本学術振興会から表彰

文学部歴史学科の佐々木真教授が(独)日本学術振興会から、平成27年度科学研究費助成事業委員として表彰されました。この表彰は、科研費の審査で有意義な審査意見を付した委員が表彰されるもので、今年度は約5,500人の中から189人が選ばれました。



総合教育研究部萩原教授が 「坂本日深学術賞」受賞

総合教育研究部日本文化部門の萩原義雄教授の著書が、「坂本日深学術賞」を受賞しました。対象著作は、『西來寺蔵仮名書き法華経 一対照索引並びに研究一』です。本著は駒澤大学特別研究出版助成を受けており、本学図書館でも閲覧することができます。



経済学部代田教授が 研究助成特別賞を共同受賞

経済学部の代田純教授と広島修道大学商学部の勝田佳裕准教授が、(一社)大阪銀行協会の研究助成特別賞を共同受賞しました。勝田准教授は本学卒業生で、経済学研究科博士課程を修了しています。受賞論文は『日本銀行による補完当座預金制度と銀行経営』です。



第4回ビブリオバトル(知的書評合戦) 開催

11月10日(火)に、図書館で第4回ビブリオバトルを開催しました。発表者7人と聴講参加者39人で書評合戦が展開され、発表者のプレゼンテーションと討論を基に、会場で「読みたい本」を投票しました。今回は成城大学も初参加し、活発なバトルとなりました。



受験生対象に “一般入試対策講座”を開催

11月23日(月・祝)に、駒沢キャンパスで受験生を対象とした一般入試対策講座を開催しました。45分で講義が行われ、受験生からは、「勉強方法を見直す良い機会となった」、「苦手な分野の対策や解答のコツが分かった」などの感想が寄せられました。



駒澤大学高等学校「第94回全国高校サッカー選手権大会」ベスト8

駒澤大学高校のサッカー部が「平成27年度 第94回全国高等学校サッカー選手権大会」に5年ぶり2回目の出場をしました。1回戦を2-1、2回戦は0-0(PK)、3回戦を2-1で勝利し準々決勝へ。東福岡高校に0-1で惜しくも敗退しましたが、初の8強入りを果たしました。





KOMAROCK FESTIVAL2015代表
文学部英米文学科3年
須貝 優斗

9月22日(火)・24日(木)・25日(金)に、記念講堂で「KOMAROCK FESTIVAL」を開催しました。これは、本学で活動する14の音楽団体と3つの有志団体を一堂に集め、開催した音楽ライブです。2014年に始まり、今回で第2回となるまだまだ若いイベントです。



第1回は一部の軽音楽団体等の参加に留まっていたのですが、今回は、「このイベントを駒大生に広く知ってもらおうこと」と「多様なジャンルの音楽を聴くことができるイベントにすること」を目指し、新たに管弦楽団や、ギタークラブ、合唱団にもご参加いただきました。また、音響・照明は電気美術研究部の協力により行いました。



来年度も、皆さんが楽しめるライブづくりをしたいと考えています。



体育会委員長
法学部法律学科4年
松下 拓也

10月4日(日)、玉川キャンパスで「2015スポーツフェスティバルin玉川」を開催しました。これは私たち体育会サークルが主催するスポーツイベントで、近隣住民の方々との交流を深める目的で企画しています。今年度は、学外の方を対象に「スポーツ教室」と「スタンプラリー式見学会」を行い、驚くことに650人もの方々に参加していただきました。毎年着実に参加人数が増えている、本企画を継続していくためのすごく良いモチベーションになっています。



私たちが今回学んだ成功点も失敗点も次回に生かし、より深く、濃い交流ができるようなイベントにしていきたいと思っています。



参加者の方や協力いただいた皆さまに、心から感謝いたします。

ボクシング部の田中亮明選手が リオ五輪テスト大会で 金メダルを獲得

ボクシング部の田中亮明選手(商4年)が、12月2日(水)～7日(月)に、ブラジルのリオデジャネイロで開催された「Aquece リオ 国際ボクシングトーナメント」(リオデジャネイロオリンピックのテスト大会)の男子フライ級で、金メダルを獲得しました。五輪テスト大会のボクシング競技で、日本人が金メダルを獲得するのは40年ぶりの快挙です。

田中選手は積極的で的確なパンチでポイントを重ね、1R 2分41秒に相手の右眉を有効打でカットし、テクニカルノックアウト勝ちを収めました。試合後のインタビューでは「全日本選手権とオリンピックのテスト大会と続けて優勝できたので、この流れで来年に向けて頑張っていきたい」と語りました。



サークル訪問 145回

アメリカンフットボール部

「アメフトは、誰でも楽しめます。部員の多くは未経験者で、中には高校時代に運動部ではなかった人もいますよ。どんな人でも活躍できますし、『うまくなりたい』という気持ちがあれば誰でもプレーできます」と楽しそうに語ってくださったのは、アメリカンフットボール部BLUE TIDE主将の勝又さん。

活動日は季節によって異なり、春のオープン戦やリーグ戦の前は週6日。オフシーズンは筋トレなどのフリー練習を、春以降は、週2～4日の練習を玉川校舎で積んでいます。

BLUE TIDEは「勝利」をスローガンに掲げ、フィジカルを強化する練習を中心に積み重ねた結果、2部チームを抑え2013年にBIG 8(関東学生アメリカンフットボール1部下位



リーグ)に昇格しました。試合中は攻守で相手を圧倒、スピード感あふれる攻めで次々に点を奪います。78人全員でチーム一丸となって戦います。「チーム力」の高さ

について「部員数は多いですが、非常に仲が良いです。『人の良さ』を引き出せるように広い視野をもちながら、チームの雰囲気を感じています。また、選手はオンとオフの切り替えができていますよね。休みの日に遊びに行ったりもしますよ」と熱く語っていただきました。

個人の勝ちの集合体がチームとしての勝利であり、1試合ずつ勝ちを重ねて、TOP 8(関東学生アメリカンフットボール1部上位リーグ)に昇格することが目標だというアメフト部。なんとなく毎日を過ごしているが、何か熱くなりたい人は、一度玉川キャンパスに足を運んでみてはいかがでしょうか。勝利を目指す熱い仲間があなたを待っています。

(学生記者 駒大スポーツ所属
文学部社会学科2年 吉田 千夏)



公式ホームページ : <http://ku-bluetide.com/>
公式Twitter : https://twitter.com/ku_bluetide

今永昇太選手、横浜DeNAベイスターズからドラフト1位指名

本学硬式野球部の今永昇太選手（経済4）が、10月22日（木）に行われたプロ野球ドラフト会議において、横浜DeNAベイスターズより1位指名を受けました。指名直後の記者会見では「ほっとした。これまでの胸のもやもやが晴れた」と安堵の表情を見せました。目標を聞かれ、「まずは1勝できるように頑張りたい」と語りました。

今永選手は、左投左打の投手。一昨年の「東都大学野球リーグ戦」では優勝に大きく貢献し、「最高殊勲賞」・「最優秀投手賞」・「ベストナイン」の個人三冠に輝き、「明治神宮野球大会」においてもチームを13年ぶり5度目の日本一に導きました。これからのさらなる活躍を期待しています。（広報課）



サークルの活動報告



卓球部

9月26日（土）～10月6日（火）に開催された「2015紀の国わかやま国体」に松山昂樹選手（地理2）と渡部大輝選手（法律2）が出場しました。松山選手は埼玉県、渡部選手は愛媛県の代表で成年男子の部で競い、松山選手は第3位となりました。



空手道部

11月23日（月・祝）に開催された「第59回全日本大学空手道選手権大会」で男子団体形第3位、女子団体組手第3位、男子団体組手で第5位に入賞しました。



吹奏楽部

12月23日（水・祝）に、駒沢キャンパス記念講堂で「第51回定期演奏会」を開催し、フェスティバル・ヴァリエーション（C.T.スミス）やニーベルングの指環（R.ワーグナー）他を演奏しました。



少林寺拳法部

11月14日（土）・15日（日）に開催された「2015少林寺拳法全国大会 in KYOTO」で、大学生女子の部で第5位入賞、一般男子マスターズBの部で優勝（現監督／併せて厚生労働大臣賞を受賞）、一般男子団体の部で第4位入賞（本学OB）しました。



管弦楽団

12月5日（土）に、めぐろパーシモンホールで「第38回定期演奏会」を開催し、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲（ワーグナー）、組曲「展覧会の絵」（ムソルグスキー）他を演奏しました。



合唱団

12月28日（月）に、文化総合センター大和田さくらホールで「第53回定期演奏会」を開催し、混声合唱のための「かなうた 第1集」、混声合唱のための組曲「子猫物語」他のステージが行われました。



サークルの活動予定

声援歓迎

体育会

- 一般スキー部
 - 第43回全国学生岩岳スキー大会 基礎スキーの部 / 2月28日（日）～3月4日（金） / 長野県白馬岩岳スノーフィールド
- 弓道部
 - 大の大会 / 1月17日（日） / 京都府蓮華王院三十三間堂
 - 東京都学生弓道連盟新人戦 / 2月下旬～3月中旬 / 各参加大学弓道場
- 硬式テニス部
 - 平成27年度関東学生新進テニス選手権大会 /

頑張れ駒澤大学!! 皆さまの熱い声援をお願いいたします。

- (予選)2月3日（水）～8日（月）、(本戦)2月12日（金）～18日（木） / 各参加大学テニスコート
- 自動車部
 - 関東学生ジムカーナ新人戦大会 / 2月22日（月）・23日（火） / 富士スピードウェイ
- 卓球部
 - 天皇杯・皇后杯 平成27年度全日本卓球選手権大会 / 1月11日（月）～17日（日） / 東京体育館
 - 平成27年度神奈川県卓球選手権大会 / 2月13日（土）・14日（日） / 横浜国際プール スポーツフロア

- TOKYO OPEN 2016 第68回東京卓球選手権大会 / 3月16日（水）～20日（日） / 東京体育館

こちらにもアクセスしてください!

駒澤大学ホームページ
<https://www.komazawa-u.ac.jp/>
 Facebook komazawa.university
 Twitter @komazawa_univer
 YouTube komazawauniv

第92回東京箱根間往復大学駅伝競走 50年連続出場 総合3位に!

1月2日(土)・3日(日)に開催された第92回箱根駅伝(東京・大手町～箱根・芦ノ湖往復、全10区間217.1km)において、本学陸上競技部は11時間04分00秒で総合3位の成績を収めた。

往路では、主将の其田選手(経営4)が1区を出遅れ、13位のスタートに。しかし、2区・工藤選手(政治2)が6位まで順位を持ち直す脅威の走りで見事に繋ぐと、3区・中谷選手(経済3)が区間2位の好走で4位に。続いて4区の高本選手(経済2)が、熾烈な3位争いを繰り広げ、往路最終区の大塚選手(経営3)で3位となり、初日を終えた。復路では、首位を懸命に追う走りで、3位を維持。8区の馬場選手(商4)、9区で箱根初出場の二岡選手(歴史4)がともに区間2位の走りを見せ、総合3位に輝いた。

今年度は、陸上競技部が箱根駅伝に50

回連続で出場する節目の大会。この間、襷は一度も途切れていない。また、今大会で7年連続3位以内という驚異的な大会記録も打ち立てた。

その後行われたOB会主催の慰労会で大八木弘明監督は、「目指すものはただ一つ、箱根の優勝。そのためには、一人ひとりがレベルを上げ、悔しさとライバル意識を持って練習に励まなければならない」と語った。

翌4日から練習がスタート。次は優勝を狙うしかない。



初めての箱根路を区間2位で快走した9区・二岡選手

第92回東京箱根間往復大学駅伝競走記録

総合成績(217.1km)	往路(107.5km)	上段(個人順位) タイム					下段(通算順位) タイム				
		第1区(21.3km)	第2区(23.1km)	第3区(21.4km)	第4区(18.5km)	第5区(23.2km)	第6区(20.8km)	第7区(21.3km)	第8区(21.4km)	第9区(23.1km)	第10区(23.0km)
総合3位 駒澤大学 11:04:00	往路記録 (3) 5:31:15	其田 健也 (13) 1:03:12 (13) 1:03:12	工藤 有生 (4) 1:08:04 (6) 2:11:16	中谷 圭佑 (2) 1:02:53 (4) 3:14:09	高本 真樹 (9) 56:28 (4) 4:10:37	大塚 祥平 (4) 1:20:38 (3) 5:31:15					
	復路記録 (3) 5:32:45	宮下 紘一 (10) 1:00:44 (3) 6:31:59	西山 雄介 (4) 1:04:21 (3) 7:36:20	馬場 翔大 (2) 1:05:22 (3) 8:41:42	二岡 康平 (2) 1:09:49 (3) 9:51:31	中村 佳樹 (12) 1:12:29 (3) 11:04:00					

第27回出雲全日本大学 選抜駅伝競走 第3位

10月12日(月・祝)、島根県・出雲大社～出雲ドーム(6区間45.1km)で行われた第27回出雲駅伝において、本学陸上競技部は2時間09分50秒の記録で第3位の成績を収めた。

大学駅伝シーズンの到来を告げるこのレースは、三大駅伝の中で最も距離が短く、例年通りスピードレースになることが予想された。1区・中谷選手(経済3)がエースの貫禄を見せ、区間賞の快走でトップに立ち流れを作ると、2区・主将の其田選手(経営4)は、区間2位の走りでトップを守り、襷を繋いだ。3区・工藤選手(政治2)、4区・馬場選手(商4)はともに激しいトップ争いを繰り広げ、2位でトップに食らい

つく。5区・西山選手(経済3)が区間賞の快走で再び1位に躍り出るが2位との差はわずか1秒。迎えたアンカー6区・大塚選手(経営3)は、粘り強く走ったがライバル校のエース級に一步及ばず3位でゴールテープを切った。

連覇を狙った本学だったが悔しい結果となった。この悔しさを糧に残る二つの三大駅伝に挑む。

大八木弘明監督は、「力の差があった」と語り、完敗を認めた一方で、「3区までに貯金をつくりたかった」と悔しさを滲ませた。



区間賞の5区・西山選手

第27回出雲全日本大学選抜駅伝競走記録

総合成績(45.1km)	区間賞 上段(個人順位) タイム						下段(通算順位) タイム					
	第1区(8.0km)	第2区(5.8km)	第3区(8.5km)	第4区(6.2km)	第5区(6.4km)	第6区(10.2km)	第1区(8.0km)	第2区(5.8km)	第3区(8.5km)	第4区(6.2km)	第5区(6.4km)	第6区(10.2km)
3位 駒澤大学 2:09:50	中谷 圭佑 (1) 22:34 (1) 22:34	其田 健也 (2) 15:59 (1) 38:33	工藤 有生 (4) 24:40 (2) 1:03:13	馬場 翔大 (5) 18:06 (2) 1:21:19	西山 雄介 (1) 18:34 (1) 1:39:53	大塚 祥平 (4) 29:57 (3) 2:09:50						

第47回全日本大学駅伝対校選手権大会 5連覇ならず第3位

11月1日(日)に行われた第47回全日本大学駅伝(愛知県・熱田神宮～三重県・伊勢神宮、8区間106.8km)において、本学陸上競技部が5時間15分33秒の記録で第3位の結果を残した。

史上初の5連覇に挑んだ本学陸上競技部。7月のユニバーシアード競技大会1万メートルで3位に輝いたエースの中谷選手(経済3)を1区に起用し、序盤から余裕をもたせ、結果は4位と苦しい走り出しとなった。

工藤選手(政治2)が2位に持ち直す快走をみせるも、続く西山選手(経済3)、主将の其田選手(経営4)、大会初出場の下選手(経済1)まで

襷を繋いだ時点で、順位は再び4位へ。しかし常勝校のプライドがあった。6区を走った馬場選手(商4)が見事区間賞を獲得し、さらに、大会初出場の7区・高本選手(経済2)から襷を受け取ったアンカーの大塚選手(経営3)は、ゴール手前で早稲田大学を逆転。意地で3位に押し上げた。

8区間中7人が区間2位以上だった昨年と比べ、今年は2人。大八木弘明監督は「エース級とつなぎ役の選手で力の差が出た。箱根までに立て直す」と決意を語った。



区間賞の6区・馬場選手

第47回全日本大学駅伝対校選手権大会記録

総合成績(106.8km)	区間賞 上段(個人順位) タイム								下段(通算順位) タイム							
	第1区(14.6km)	第2区(13.2km)	第3区(9.5km)	第4区(14.0km)	第5区(11.6km)	第6区(12.3km)	第7区(11.9km)	第8区(19.7km)	第1区(14.6km)	第2区(13.2km)	第3区(9.5km)	第4区(14.0km)	第5区(11.6km)	第6区(12.3km)	第7区(11.9km)	第8区(19.7km)
3位 駒澤大学 5:15:33	中谷 圭佑 (4) 43:19 (4) 43:19	工藤 有生 (2) 37:52 (2) 1:21:11	西山 雄介 (10) 27:52 (3) 1:49:03	其田 健也 (4) 41:00 (4) 2:30:03	下史典 (8) 34:59 (4) 3:05:02	馬場 翔大 (1) 35:39 (4) 3:40:41	高本 真樹 (9) 36:13 (4) 4:16:54	大塚 祥平 (3) 58:39 (3) 5:15:33								